

ひょうごの はじまりが、 いっぱい。



先輩インタビュー①

Uターンした但馬で
デイサービスを立ち上げた
秋山一平さん

ニーズを埋める形で
地元の人たちの健康を
守る手助けをしたい



地元での起業を目指しUターン

秋山一平さんは昨年3月、豊岡市日高町にデイサービス「and Reha.」を立ち上げました。養父市に生まれ、阪神間の学校で理学療法士の資格を取った後は神戸で働いたこともありましたが、起業を見据えて但馬地域に帰ってきました。妻と6歳と1歳半の男児2人と実家をリフォームした家に住んでいます。

「車ですぐですし、僕には養父市、豊岡市といった意識はあまりありません。但馬地域のニーズを埋める形で、心地よい空間で介護のイメージを刷新する場を、地元のためにつくりたかったんです。最初、妻は反対しました。粘り強く家庭内プレゼンをして最後は折れてくれました」

いろんな人が「つながる」場に

名前の「and」には「この場所がいろんな人たちがつながる場になればいい」との思いを込めています。

「子ども向けのリズムトレーニング教室を開いたり、買い物に宅配を利用する契

約者さんの『野菜は見て選びたい』という声を聞いて、地元農家から仕入れた新鮮な野菜が並ぶ『and 808』コーナーを設けたり、思いつくことは何でもやっています」とにっこり。

コロナ禍での立ち上げとなりましたが、契約者は現在75人。午前と午後3時間ずつの半日型プランが「丸一日つぶれないから、家の仕事もできる」と利用者に喜ばれているそうです。

交代で勤務するスタッフは現在9人。「パートの求人をかけると、予想より多い応募が来ました。移住してきた劇団員たちと交流する中で、ここで演劇のワークショップもできたらという話もできています」

休日はスポーツやアウトドア

週休2日を確保して、休日は家族や友人とスポーツやアウトドアで楽しんでいます。「子どもの時からスポーツが大好き。海も山も近く、生まれ育った場所で気心の知れた仲間たちもいる。皆で力を合わせて但馬地域を面白くしたいですね」



「自宅でも毎日してほしいリハビリは正しいやり方が大切」とポイントを丁寧に伝える秋山さん



「高齢者のためのデイケアセンターですが、地域の人たちが交流できる拠点になれば」と始めた子ども向けのリズムトレーニング

自分たちの思いをかなえる場として兵庫を選んだ先輩たちは、どんな暮らしをしているのでしょうか。
移住した西脇市で「作り手の顔が見える服」をつくる
村田裕樹さん小野圭耶さん夫妻に聞きました。

ど
ん
な
ん
?

休日は家族や友人たちとアウトドアを満喫しています

若杉高原おおやスキー場（養父市）で
下の子と初スノーボード



自宅から車で40分の八丁浜シーサイドパーク（京丹後市網野町）で冬の海辺遊び



先輩インタビュー②

東京から西脇市に移住した
村田裕樹さんと
地元出身の小野圭耶さん夫妻

地場産業の播州織に
デザインで
新しい可能性をひらく



村田さんと小野さんはプロジェクトチーム「365cotton(サブクコットン)」を主宰。綿花の栽培や収穫のワークショップを開き、地域の交流を深めています



古民家の自宅には昔ながらの機器も。播州織をかかわる人すべてが幸せになれる地場産業として受け継いでいきたいと話します

技術に衝撃を受け移住を直談判

綿糸を先に染めてから織り上げる「播州織」の産地、西脇市。東京で服飾デザインを学んだ村田裕樹さんは2012年、この町に単身で移住しました。何事も売り手の論理で決まる東京での仕事に抵抗を感じ、全国の産地を訪問。天然素材をごく細い糸に加工し、多様な色に染めて精密な生地を織り、優しい風合いを出す西脇の技術に衝撃を受けたそうです。

西脇市で自社ブランド「^{ハツトキ}hatsutoki」を立ち上げていた島田製織(株)に入社をTwitterで直談判。今はブランドのデザイナー兼ディレクターとして、職人や同業者とコミュニケーションを取りながら、商品企画から販売までトータルにかかわっています。 Cottonの滑らかな肌触りと着心地の良さが人気。村田さんは「西脇には織物技術のすばらしい土壌があり、デザインの概念を付加すればもっと魅力が増します。食べ物と同じく、作り手の顔が見える服にこだわりたい」と話します。

2年前、地元出身の小野圭耶さんと結

婚。現在、小野さんは市内の別会社でデザイナーとして働いています。

外からの人を受け入れるまち

「西脇はかつて多くの女性労働者が全国から集まりました。外からの人をスムーズに受け入れる雰囲気があります」と小野さん。

移住当初、周囲は村田さんに食事を用意したり、週末にはドライブや勉強会に積極的に誘ってくれたそうです。

楽しみを自ら見つけるのが鍵

市郊外の古民家に暮らす二人。地域の高齢者や仲間と定期的に集まって料理やお酒を楽しむほか、市内外の顧客やメーカーと綿花の栽培と利用を進めるプロジェクトにも挑戦。村田さんは「盆地にある西脇は朝霧が美しい。そこを運転して通勤していると、自然の光や色から、東京の満員電車では得られない発想が湧いてきます。楽しみを自ら見つけるのが移住を成功させる鍵。この土地に根ざした服と暮らしを発信していきたい」と話しています。

自然の光や色から新しい発想を得ることができます

村田さんは昨年豊田の有機農業の学校へ月一度通い始めた。「学びがとても多い」という

村田さんは西脇の朝霧など心に残したい風景をブログで発信している



2020 秋

ワーケーションファムトリップレポート

in 新温泉町

リモートワークが進む中、県は昨年10月19日～21日、首都圏からインフルエンサーになりそうな人たち14人を招いて湯村温泉とその周辺地域(新温泉町)で2泊3日の視察旅行を実施しました。豊かな自然やスキー・温泉リゾート、芸術文化、食など、多彩な地域資源を有する但馬地域でワーケーションをモデル的に進めるねらいです。当日の様様をレポートしましょう。

今回、①発信力がある②分析力がある③行動力がある④意思決定権がある⑤継続性があるを選定基準に下記の14人が参加しました。

- (株)ディスカバージャパン(日本の価値を伝えるための雑誌)
- (一社)プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会(フリーランスをより活躍できるようにサポートする協会)
- 共同ピーアール(株)(日本3大PR会社の一社)
- (株)ネットワーク(外国人向けツアー、オンライン向けコンテンツ、観光支援等)
- (一社)ALIVE(社会・地域課題解決支援団体)
- アルコニック株式会社(音楽プロデューサー、音楽クリエイターチーム運営等)
- (株)MOLTS(デジタルマーケティングの戦略立案・設計から最適な施策展開を支援)
- (株)TETSU-LAW&Co(映像制作・映像配信)
- 酢飯屋(日本中にある伝統寿司を東京で提供する完全予約制の寿司屋)
- 熱爛DJつけたろう(日本酒と料理人とのペアリング、日本酒ライター等)
- スターフードジャパン(株)(フードアナリスト、商品プロデューサー、人材育成、販路開拓)
- (株)ノヴィータ(WEBサイト制作、WEBマーケティング、システム開発、人材サービス)2人
- 但馬信用金庫

自然や特産品・

温泉があり
とても魅力的。

ファンになった。



湯村温泉の文化財「薬師堂天井絵」見学

17:30 湯村温泉「朝野家」泊

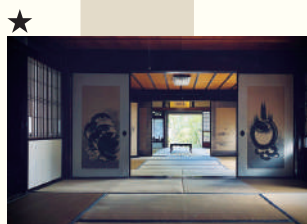


1日目

羽田から2時間! 思っていたよりも「飛行機」を使うと東京から近い。

09:25 羽田空港発

10:40 鳥取空港着マイクロバスで新温泉町へ



11:40

東藤田邸

北前船の寄港地の元廻船問屋を宿泊・多目的施設にリフォーム

12:30

マル海渡辺水産で水揚げ魚種の紹介と昼食



14:10

酒蔵「(株)文太郎」で現代の名工に選ばれた但馬の名杜氏に会う

15:15

ワークスペース候補見学



荒湯観光センター

リフレッシュできる温泉と美しい自然が身近にあり、食事もおいしい。

ワーケーションの場所として必要な条件がそろってる!

2日目

1班

09:00 OK-WOOD

杉の間伐材を使用して木製カップ、椅子などを作る

高垣自転車店

田舎の自転車屋から実業団自転車チームまで展開

11:00 上山高原

上山高原ふるさと館、シワガラ滝、ブナ林、但馬牛牛舎を散策し途中で昼食



シワガラ滝の洞窟内から眺める景観美は、アート性を感じる。

16:30 1班・2班合流

リフレッシュパークゆむらで温泉とストレッチを堪能



ワークスペース候補の「ログハウスカナダ」で交流会

初めて訪れた地域でしたが、
また必ず行きたい。

3日目

湯村温泉「朝野家」出発

11:20 鳥取空港発

12:40 羽田空港着



小田垣栄司さん

株式会社ノヴァータ 代表取締役会長。株式会社こべる 代表取締役社長。兵庫県IT企業誘致・ビジネス創出コーディネーター。ひょうご経済・雇用活性化プラン推進会議構成員。兵庫県地域創生戦略 若者定着・環流部会員。ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム構成員

外からの視点で
新温泉町に化学反応を
呼び起こすために
僕はふるさと豊岡が本当に変わったという実感を持っています。変わった理由は、地元の人たちが元々そこにあつた魅力を、どういう視点で発信すればいいかを、外から来た人にもらったから。それで今回、新温泉町で化学反応が起きる可能性をもたらしてくれそうな人たちに声を掛けました。
新温泉町の人たちは昔から泥だけ落とした野菜を荒湯に持って行ってゆでています。僕らはそれがアクティビティとして面白いけれど、町の人たちはどこが面白いのかわかりません。「キャンプに通じる面白さがあるんですよ」と伝えて初めて気がつくんです。ゆでた野菜はホクホクして塩もつけていないのにミネラル分が豊富でおいしい。しかも、こんなステキな余暇の過ごし方ができる所は日本に数カ所しかないんです。外から何かを持ってきて新しくするのでなく、元々ある価値を見つけて発信し続けていくことで、自分たちの町に誇りを持てる人たちが増えていくと思います。

2日目

2班



09:15 但馬御火浦村おこしグループ

みほのうら
保育所跡を拠点に地域の海産物加工品(イカの米麴漬、ワカメ)を生産・販売する女性グループ

人と人との
出会いが
あり
良かった。



10:50

田井ノ浜
海岸プラスチック
ゴミの実態を見る

12:00 道の駅「山陰海岸ジオパーク 浜坂の郷」にて昼食

13:00 まち歩き案内所「松籟庵」で 蓄音機鑑賞

14:20 県立温泉高校跡見学 2007(H19)年3月に閉校

15:00 県立但馬牧場公園内の 但馬牛博物館で 但馬牛について学ぶ



小田垣栄司さんの呼びかけで「ワーケーションファミトリップ in 新温泉町」に参加した男女2人が2月17日、東京で小田垣さんとトークしました。面白いアイデアが続々と飛び出しました。

(左から)TETSU-LAWさん、児玉真悠子さん、小田垣栄司さん
=2021年2月17日、東京都中央区で



TETSU-LAWさんは10月に出会った御火浦村おこしグループのおばあちゃんたちに12月、再び会いに行った。小田垣さんはここを「コミュニティの最先端」と言う。参加したすし職人と新しいことを始める動きも出てきているそうだ

ワーケーションファミトリップ参加者座談会

新温泉町で見つけた魅力って何？

新温泉町と都会をつなぐメディアを

児玉 新温泉町でしか得られないモノや人と出会った参加者たちがインスピレーションを得て、新たなビジネスや価値を発見している様子を目の当たりにして「ワーケーション」の可能性を実感しました。

TETSU-LAW 10月はいろんな所を回ったので少し消化不良のところもありました。地元の皆さんをもっと知りたくて、12月にもう一度行きました。御火浦村おこしグループと参加したすし職人が新しいことを始める動きも出てきていると聞き、そのストーリーに興味を持ち、僕から提案して新しいメディアを作っていこうという動きになっています。ネーミングは「ツムギアム」。3月末に向けて公開しようとしています。

小田垣 TETSU-LAWさんと活動して、まさに「紡ぐ」と「編む」がしっかりかみ合いました。地元の人や訪れる人たちがどんなふうにつなぎ、くっつけていくか。点と点だったものが線になって、線が織り上がって面になる。そんな柔らかいイメージで発信できるメディアを2人で準備しています。その

うちの一つの舞台が新温泉町。ここから始めて、兵庫県内や他の自治体にも案内していけたらと考えています。

四季折々に楽しめる海と山と温泉のまち

児玉 東京生まれの私が人生で一度行ってみたかったのが鳥取砂丘と朝来の竹田城址。新温泉町からは両方に車で30、40分ぐらいで行けます。観光を楽しむ拠点になるのではないのでしょうか。

TETSU-LAW 僕は地元のおばあちゃんたちにあいさつに行く感じの旅が生まれると面白そうだなと思います。会うと元気をもらえるし、絶対に「お土産にワカメ買います!」となります。

小田垣 東京で目の下にクマを作りながら仕事している身としては、ちょうどいい形で皆さんが楽しみながら働いている姿に学ぶべきものがたくさんあるんだよね。

児玉 Uターンで新温泉町に戻ってきた人が「お金を使うのに疲れちゃった」と言っていました。そこに海や山がある新温泉町では、お金を使わないでいつでも遊べて心が安らぐ。都会で

疲れた人たちを癒やす場になっているのでは。新温泉町には透明で波もなく穏やかな海水浴場があり、夏にはシュノーケルもできる。首都圏から近い熱海にも海と山と温泉があるけれど、山に雪は降らない。新温泉町は雪が降るからウインタースポーツも楽しめます。

発掘したいそこにしかない素敵なもの

小田垣 新温泉町は広くて車が運転できる人向けのアクティビティが多いから、空港からレンタカー前提で4、5泊するぐらいがちょうどいい。となると、ワーケーションで仕事ができる拠点がほしいね。

児玉 快適な椅子と机、オンライン会議ができるスペースがあれば。私はテザリング*するので、4Gの電波がつながる場所なら、どこでも仕事できますよ。

TETSU-LAW 動画など数十ギガを送る時は、テザリングはありえないですね。一気に終わっちゃう(笑)。

小田垣 都会のようにどこでも仕事できるようにする必要はなく、拠点を1カ所整備して5GとフリーWi-FiがあればTETSU-LAWくんも仕事ができる。

今、しっかり考えておきたいことは、ひょうご五国の中で、但馬地域に行かないと絶対に味わえないものは何か。それを発掘してフォーカスすべきということ。都会の人は、地元の人が誇りに思えるように「それ素敵だね」とちゃんと言わなければならない。僕は「こうしたらもっと素敵になるよ」と言ってくれるような人たちを東京から連れて行きたい。そうやって大事に育てていったものは、地元の人たちが本当に大事だねと思える実感になっていくと思います。

「親子 de ワーケーション」を広めたい

「新しい働き方」を実践する編集者&ライター。出版社で書籍編集を経験後、2度の育休を経て2014年フリーランスに。プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会に創設時から関わり、パラレルキャリア、地方副業、ワーケーションへの関心が高まり、国家資格キャリアコンサルタントを取得。21年株式会社SOTOEを立ち上げ、代表取締役社長。親子向けワーケーションを推進する「親子deワーケーション (oyakodeworkation.com)」や地域の魅力を編集する事業を行う。小学生2児の母。

Twitter / mayukoda

児玉真悠子さん

*スマートフォンなどのデータ通信を利用して、パソコンやタブレット端末、ゲーム機器などをインターネットに接続すること。



★ 浜坂駅前のレトロなまち並み。小田垣さんは「地元の人たちは何でもある便利な生活にあげられているから、そうしたい。でも何でもある生活になると、都会から行く人たちは何も面白くない。自分たちが今このままのが一番いけてるんだと、地元の人たちが本気で思って、その良さを大事にするために何をしたらいいかを一緒に考えていきたい」と言う



児玉さんは浜坂駅前のまち歩き案内所「松籟庵」で観光情報のチラシを多数見つけた。「磯の生き物を見に行く6時間のプランや海岸に漂着したゴミ清掃体験は子どもにすごく勉強になります。この情報をワーケーションとひもづけられたら」

新温泉町の原風景を大切にしてほしい

児玉 新温泉町はいつもと違う場所にいることが風景から感じ取れるのが大きな魅力。旅先で国道沿いに全国チェーンの店がある風景が目飛び込んでくると、自分がどこにいるのかわからなくなります。昔の暮らしをありのままに見せるだけでも子どもたちは喜ぶし、レジャーになります。

小田垣 日本にある大事な場所、ちゃんと残っているレアな資源はちょっとずつ皆が行って壊さないように大事に扱わないと。取扱注意のヴィンテージものは壊しちゃったらもう返ってこない。僕はそういうところに心惹かれます。

児玉 昔ながらのまち並みが残る浜坂を守るには、京都の町家再生のようにリノベーションはするけれど外観は残すみたいなことを考えた方がいいかもしれません。昔のものを残すにはメンテナンスが必要です。さびれてると思われなくて、古めかしくて素敵だねと言われるために。

小田垣 そこにこそお金をかけなきゃ。昔のものは大体地元の人たちが作っています。地元で頼めば雇用にもつながるし、生活の知恵も受け継がれていきます。

楽しめるプランが、新温泉町にも実はあるんですが、オンライン情報になっていないから、都会の人には知られていません。

小田垣 自治体は発信する情報に責任を持たなければならぬから、安心安全安定という枠に入らないものがこぼれてしまう。だから僕らみたいに外にいる人が、やっている人たちが自由に発信できる場を作らないと。まさに、TETSU-LAWくんが言っている、誰かと誰かをつないでいくことだと思います。

TETSU-LAW そうですね。勉強になります。

児玉 親子で違う場所に行くことで、子どもがいつもと違う大人たちに会えることはすごい財産だと思うんです。こんな大人がいるという記憶が残っていれば、職業選択の幅も広がるかもしれない。いろんな地域を子どもと巡ることによって、多様な生き方があると伝えたい。

さんかな？

児玉 地域おこし協力隊も外から来ているので新鮮な視点を持っていると思います。

小田垣 ある町の職員さんが「僕の仕事は、地域おこし協力隊おこしなんですよ」と言っていました。地域に住んで1日8時間の活動時間を持つ彼らに明確な目的意識を持ってもらえば、任期中にできることがたくさんあるね。

児玉 ワーケーションで来る人たちと地域おこし協力隊との協業ができれば面白いことが始められるかもしれません。

小田垣 とてもいいと思いますね。もし、しっかりリレーションできるようになったら、継続性はもっと増し、インパクトも大きくなると思います。

児玉 今、地方副業が注目されて、すごく始めやすくなっています。ある程度スキルを身につけた30～40代の人たちが、普段の自分の仕事と離れて、地域に何か還元したり挑戦したい気持ちがあるようです。

小田垣 自分の故郷として年に1回か2年に1回訪れて、親戚づきあいするのが楽しい場所というふうにしていくと、長く関係を紡いでいくことができるのではないのでしょうか。

親戚づきあいするのが楽しい場所

小田垣 地元の魅力発見の核になりうる人的資源は、やはり役場の職員

子どもと行けば可能性が広がっていく

児玉 スタートさせた「親子deワーケーション」はワークとエデュケーションとパッケージがねらい。「子どもと一緒に引っちゃおうよ」が趣旨です。ハードルは、滞在先での子どもの預け先。子どもだけでアクティビティを

人と人をつなぐ新しいメディアを作る

Visualizer TETSU-LAWさん

手紙を書くように映像を創る人。人と人をつなぎ、様々な場創りを行う。映像、コミュニティ、プロジェクトという様々な表現で想いをカタチにする(Visualize)。地方と都市部をつなぎ様々な課題をビジネスで解決していく「ツムギアム」プロジェクト ボードメンバー。4～7P★印の写真はTETSU-LAWさん撮影。

ツムギアム

<https://note.com/tsumugiamu>



全員に居場所がある 面白い地域をつくろう！

2021年4月に豊岡市に開学した兵庫県立の芸術文化観光専門職大学の学長、平田オリザさん。大学の開学は地域の大きな起爆剤になると期待されています。平田さんは2年前の9月に豊岡に移住し、主宰する劇団・青年団も昨年3月にオープンした江原河畔劇場に拠点を移しました。移住してどんなことを感じているのか、但馬で何を実現しようとしているのか、その思いを聞きました。



兵庫県立 芸術文化観光専門職大学 学長

平田オリザさん

暮らして快適な豊岡のまちを実感

「移住して不便じゃないですか?」と聞かれますが、特急の停まるJR江原駅まで劇場から歩いて2分、日高神鍋高原ICまで車で5分、コウノトリ但馬空港まで車で15分。何の不便もありません。自然食品が豊富な大きなスーパーもあるし、おいしいイタリアンをはじめ、行きつけのお店も何軒かあります。快適に過ごしています。

劇団の拠点はどこにあってもいいんです。ここで作って日本中、コロナが収まれば世界中を回ることができます。団員は200人以上いますが、常時活動しているのは60~70人。稽古期間中だけ宿舎に泊まる人もいますが、10家族約30人が移住してきました。単身者もいれば子どもが3人いる人も。東京での子育ては大変な上に、コロナの感染拡大もあったので、全員が「早目に引っ越してきてよかった」と。その様子を見て移住希望者も増えています。

芸術文化観光を学ぶ大学

豊岡との縁は、城崎のコンベンションセンターが県から市に払い下げになった時、再生諮問委員会の座長を頼まれたのが始まりで、そのまま芸術監督もしました。それが大成功して高く評価されたことが専門職大学の学長となるきっかけでした。

豊岡は人口8万人、但馬全域で16万人。東京都とほぼ同じ面積なのに4年制大学がありませんでした。大学の誘致は地域の悲願でしたし、演劇界では先進国並みに「国公立大学に演劇を学べるコースを」が悲願でした。2つの悲願が重なって開学できたことは本当に良かったと思います。

豊岡で同じ学年で生まれる子は約600人。18歳で7割が外に出てしまうので、19歳は200人ぐらい。そこに春から80人の学生がやって来ます。しかも7、8割が女子なの





で、すごいインパクトです。

1期生の選抜は全国から多くの出願が集まり、例えば総合型選抜で出願のなかった県は4県だけでした。

なぜ観光とアートなのか。この10年インバウンドで潤ってきた要因は円安とアジアの経済発展です。中国や東南アジアで生まれつつあった10億人近い中間層が最初の海外旅行先として日本を選んだ。次にもう1回来てもらうためには食やスポーツを含めたコンテンツが必要になります。私たちも日本ではオペラを見なくても、ウィーンではオペラハウスに行くし、美術に関心がなくてもパリでルーブル美術館に行きます。日本は家族で楽しめるナイトカルチャーが少ないことも課題です。そこで芸術文化観光の可能性を模索しようと、それが学べる大学を立ち上げたのです。

関東圏から集客した豊岡演劇祭

受験生は地域貢献を考えている人が非常に多いです。例えばオーストラリアで1年間留学した地方都市の受験生の志望動機は「オーストラリアの地方都市の豊かさを見て、なぜ自分の街はこんなに寂しくなったのかと考えた。4年間豊岡で観光とアートを学んで、地元のまちおこしに貢献したい」。本当に変わらなくてはいけないのは、元気のない地方都市をつくってしまった大人の側ですね。

昨年は第1回豊岡演劇祭に併せてオープンキャンパスをやりました。大学の実習で演劇祭の運営にかかわれます。コロナで観客を半分に制限しましたが昨年は約5000人が来ました。2、3泊した人もいて例年少ない9月の宿泊者数を約10%押し上げました。これまでカニや海水浴などで集客してきた豊岡で、アートを入れれば通年集客できます。関東からは初めて来た人がほとんどで「一度来てみたかった」という人が非常に多かったです。城崎はまだまだポテンシャルがあります。

芸術をトリガーにして地域の魅力を再発見させることができたのです。温泉や自然やおいしいものは全国にあるから、城崎を選んでもらうのは難しいけれど、演劇を見るために東京や大阪から人が来る。一度知ってもらえば、但馬地域は本当にいろいろな魅力があるので、また来たくなる。こんなに教科書通りに行くことも珍しいです。実際にそうなると、先日にも神鍋の民宿の若い経営者から「観劇とセットのツアーをホームページで売り出したい」と申し出がありました。アート自体にも意味があるけれど、地域の人たちの頭やハートも活性化できるのです。

全員に居場所をつくる演劇教育



「文化によるまちづくり」では国際性と地域性の両立が大切です。芸術のクオリティーを下げた場合と外から人が来ません。一方、地域を大切にするために豊岡で重視しているのが教育です。市内38すべての小中学校と近隣の高校で演劇教育を入れています。演劇的手法を使ったコミュニケーション教育は、子どもたちに役割分担や役柄の交換を学ばせ、集団で何かを発表して拍手を浴びる経験ができます。おとなしい子や声の小さい子も役に付け、全員のポジションを考えます。

最近「うちの孫が学校でワークショップをやったすごく楽しかったらしいですよ」と言われます。子どもたちは楽しかった授業の話の家でするので「演劇は難しい」と言っていた大人たちも「孫が楽しいなら、ま、いいか」となります。大学というコンテンツが入って、豊岡はいろんな人がいることが許されるリベラルでオープンなまちになっていくと思います。大人たちが人生を楽しんでいる姿を、子どもたちに見せていきましょう。



兵庫県立 芸術文化観光専門職大学

JR豊岡駅から徒歩約7分の地に誕生した芸術文化観光専門職大学は、芸術文化・観光学部、芸術文化・観光学科の1学部1学科80人でスタート。全科目原則40人以下の徹底した少人数教育を行い、国立では初めて演劇・ダンスの実技が本格的に学べます。220人収容の劇場をはじめ、ダンス専用スタジオなど、舞台芸術を本格的に学ぶための教育施設を完備。1年次は原則全寮制（個室を確保したシェアハウス方式）で、全員が「コミュニケーション演習」を履修。演劇を活用して表現力や協調性など、これからの社会で必須となる「対話的コミュニケーション能力」を身に付けます。

1学年365日を4期に区分するクォーター制を採用。第1・第3クォーターは講義と演習科目を、第2・第4クォーターは実習科目や集中講義、海外留学を配置。理論と実践を繰り返し、主体的に学びを深化させることができます。平田学長は「開学したら将来構想委員会を立ち上げ、近い将来横展開で学部を増やすのか、縦展開で大学院を設置するのかなど、色々考えていきたい」と話しています。



県内の大学生に聞きました

兵庫県は若者・女性の県内就職対策に生かすため、県内の大学生に就業意識や将来設計、生活実態を聞くアンケート調査を実施しました。卒業後の進路希望先として回答の多かった○民間企業等(43.9%) ○公務員(教員等を含む)(21.2%) ○専門職(医師、看護師、その他士業を含む)(17.9%)の3つのカテゴリーに着目して、目指す将来像についてご紹介しましょう。

【2020(R2)年度大学生意識調査(日常生活とライフコース)】

調査期間：2020年8月12日～10月31日

調査対象：兵庫県内にキャンパスのある大学に在籍する学生 回答者数：2,671名

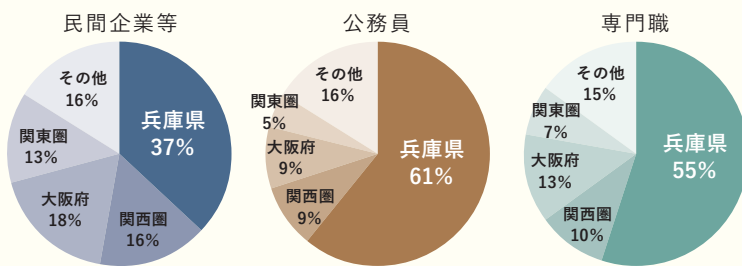
回答者属性 ①性別：男性27.7%、女性72.0%、その他0.3%

②学年：1年生20.8%、2年生34.0%、3年生31.1%、4年生12.4%、その他1.7%

③現在の居住地：兵庫県80.1%、大阪府15.6%、その他4.2%

④出身地：兵庫県57.2%、大阪府16.4%、その他国内24.7%、海外1.6%

現時点で想定している新卒時の就職地は？

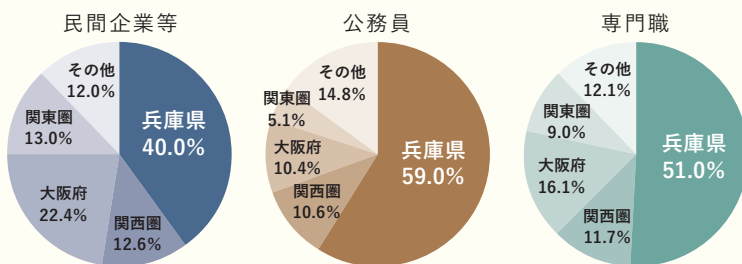


就職地を選択する理由は？

	民間企業等	公務員	専門職
希望の仕事がある	13.8%	17.8%	15.1%
出身地である	13.7%	21.2%	15.5%
大企業や本社が多い	8.1%	1.6%	2.1%
都市部で暮らせる	6.4%	3.7%	5.5%
買い物・交通など日常生活が便利	11.0%	6.8%	9.3%
兵庫県に愛着がある	4.5%	9.5%	4.7%
通勤時間が短い	13.4%	11.8%	14.8%
生活費がリーズナブル	1.9%	1.1%	2.6%

民間企業等志望では都市部での仕事や生活を、公務員志望は地元での暮らしを、専門職志望は生活の質を重視する人が多いようです

10年後の居住地は？



10年後に暮らしたい場所は、すべての層で「兵庫県」がトップです。新卒時の就職地と比較すると、民間企業等志望で「兵庫県」に戻りたい人が多くなり、公務員・専門職志望では将来的に「関東圏」「関西圏」で暮らしたい人が増えています

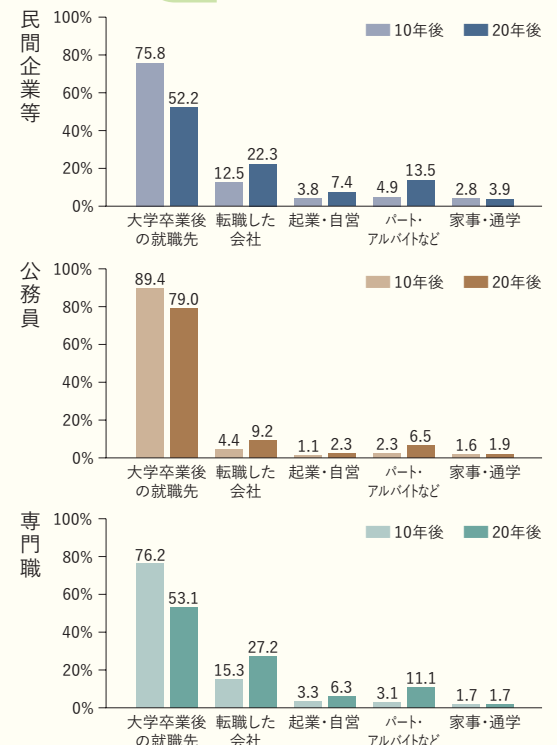
仕事・家事(子育て)・プライベートの何を優先する？

	民間企業等		公務員		専門職	
	10年後	20年後	10年後	20年後	10年後	20年後
プライベートな時間	11.3	11.8	5.1	7.4	5.6	6.7
家事(子育て)とプライベート	5.8	11.3	5.1	6.2	3.6	5.9
家事(子育て)	10.6	10.9	9.9	7.8	11.7	10.7
3つを両立	17.3	21.5	20.1	24.7	17.8	20.7
仕事とプライベート	19.8	16.2	15.4	15.4	17.6	18.6
仕事と家事(子育て)	26.7	22.1	34.6	31.8	35.6	32.2
仕事	8.6	6.2	9.7	6.7	8.2	5.2

(単位：%)

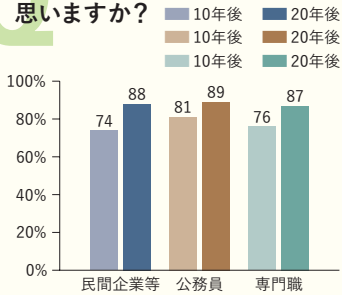
すべての層で「仕事と家事(子育て)」を優先したい人が最も多いものの、両立志向の人も、20年後に向けては仕事を充実させつつ、プライベートや子育てを重視する人が多いことがわかりました

10年後と20年後、仕事の状況は？



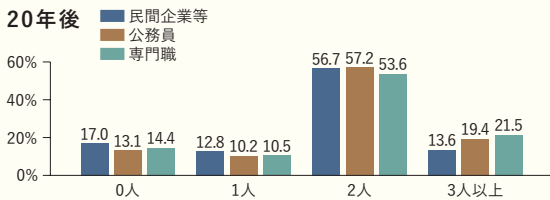
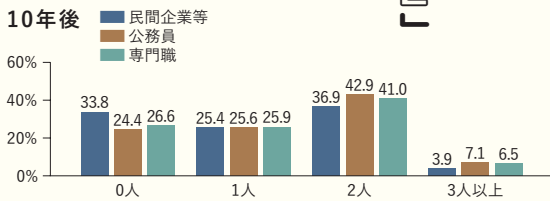
将来的にも「大学卒業後の就職先」で働いているイメージの人が最も多いけれど、時間がたつほど割合はダウン。公務員以外は「転職」「起業・自営」も視野に入れて働き続けるつもりでいるようです

将来、結婚していると 思いますか？



「20年後には
9割が『結婚』し、
子どもの数は『2人』」

子どもの人数は？



将来的に望ましい子どもの人数は増加する傾向。20年後には、すべての層で半数以上が「2人」と回答し、公務員・専門職志望では「3人以上」が2割前後まで増えています。一方、民間企業等志望では「0人」と回答する人が他の層よりも高くなっています

「兵庫県」への関心を持ち続けるために

アンケート結果から、県内の大学生は将来的に結婚し子ども2人を育て、仕事は続けながらもプライベートや子育ての時間を充実させたい、と考えている人が多いことがわかりました。働き方や住まい、暮らしに対する意識が大きく変わりつつある今だからこそ、貴重な学生時代を兵庫県で過ごす皆さんに、県への関心を持ってもらい、愛着や魅力を感じてもらいたいと思います。

もしも兵庫を離れることになっても、兵庫県を身近に感じてもらえるよう、県は公式Instagram「love_hyogo」、ひょうごe-県民アプリを通じて、地域の様々な魅力やフレッシュな情報を発信しています。ご注目ください。

*詳しい調査結果は兵庫県ホームページで公開しています。
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/>

ひょうごへの想いをつなげる 〔ひょうごe-県民制度〕

全国の都道府県で初めて、兵庫県にゆかりのある人たちの「ひょうごへの想い」を地域づくりにつなげようと2019年にスタートした〔ひょうごe-県民制度〕。出身者だけでなく、一時期を兵庫で暮らしていた人、兵庫に関心がある人など、離れていても「兵庫がちょっととなつかしい」「兵庫をちょっと知りたい」人たちの注目を集めています。

ひょうごをつなげる

登録

今頃あの街、どんなかな？
元気なまちづくりが進んでるらしい
兵庫のうまいもん、気になる

そんなふうに兵庫が気になったら「e-県民」に気軽に登録
スマホのアプリから簡単にできます。

今を知る

利用



ひょうごe-県民アプリ
スマホアプリで地域の情報を身近に
兵庫のお出かけ情報やローカルニュース、お得なサービス、同窓会や空き家情報など。

実際に訪れる

来県

ふるさとで頑張ってる友達に会いたいな
今度の週末、兵庫に行こうかな？
そろそろ兵庫に住んでもいいかも……

あなたの「ひょうごへの想い」、行って、確かめてみませんか？

アプリのご利用にはひょうごe-県民制度へのご登録が必要になります。

ダウンロードはこちら



[ios]



[android]



兵庫県公式地域創生Instagram
#lovehyogo 発信中!

皆さんもハッシュタグ #lovehyogo をつけて投稿してください!

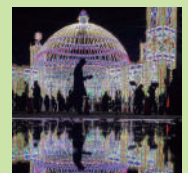
QRコードはこちら



@plum_a14chan



@_yt.5104__



@anakichi0325

教えて!

兵庫県版 地域おこし協力隊 のおしごと

県内には全国初の独自の制度で約40人の兵庫県版地域おこし協力隊がいます。隊員たちはおよそ1~3年の間、地域に住み、自治体から委嘱されたさまざまな活動を行っています。具体的にはどんな活動をしているのか、丹波篠山市の内山裕海さんと淡路市の今井伸哉さんに聞きました。

温室栽培のイチゴに注力

自然豊かで、食材に恵まれた淡路島。島の北部、淡路市に昨年2月オープンした観光農園「大坪だんだんファーム」で、栽培管理や情報発信に取り組んでいます。播磨灘を望む斜面に広がる段々畑では、タマネギ、ブロッコリーなど多彩な野菜が穫れますが、いま力を入れているのがイチゴの温室栽培。水や温度管理に最新技術を取り入れ、紅ほっぺ、あきひめ草姫という品種を育てています。地区の魅力発信も私の大切な仕事です。大手スーパーに直談判してイチゴを売り場に並べてもらったり、旅行サイトに集客方法を相談したりして、生田大坪という地域を一人でも多くの人に知ってもらおうと活動しています。

認め合って「架け橋」に

以前は大阪の大手企業で営業をしていました。昨年、洲本市出身の妻との結婚に合わせて島に移住。大学で地域活性化と教育の関係を学んでいたこともあって、人口減や高齢化が指摘される中、集落を存続させる取り組みに興味を湧き、地域再生協働員の世界に飛び込みました。島の中では地域のすばらしさが見過ごされがちです。しかし、私のような外来者が新しいアイデアで背中を押せば、スムーズに進み始めることが結構あります。地域の活性化には、お互いを認め合うことが大事。内と外の言葉をつなぐ架け橋として、島の未来にこれからも役立っていきたいと思っています。



淡路市地域再生協働員
「大坪だんだんファーム」で勤務する

今井 伸哉さん (26歳)



観光農園から情報発信 新しいアイデアで届ける島の魅力



特産の黒豆、全国にオーナー

丹波篠山市は、おせち料理で有名な黒豆の一大産地。そんな高価な農作物を獣害から守る任務を受け、昨年7月から働いています。方法としては耕作放棄地を黒豆畑に変え、野生動物が近づきにくい環境を整備。全国で「黒豆オーナー」を募ったお金で苗を植え、返礼として獣害から守った黒豆を収穫してオーナーにお届けします。丹波篠山の豊かな自然や黒豆に関心を持って下さる都市部のオーナーも多く、心がけるのはSNSを中心とした活発な情報発信。収穫体験などオーナー限定イベントのアテンドも行います。いわば都市と農村をつなぐ役割と認識しています。

自分も活躍できる「余地」は多い

出身は静岡県浜松市。関西学院大学に進み、都市政策を学ぶ一環で離島のフィールドワークに参加し、農村や小集落の営みに関心を持ちました。日本の原風景が維持され、いつまでも活気ある場所であってほしい。そのお手伝いのできる術として地域再生協働員があることを知り応募しました。任命を機に大学を休学し、宝塚市から丹波篠山市へ転居してきました。自分にも何かができる「余地」や「空間」が、まだまだ残されていることが地方で働く魅力です。いずれは建築の知識を深め、自分なりの切り口で耕作放棄地の活用を、丹波篠山で腰をすえてやってみたい。そんな展望を持っています。

耕作放棄地で黒豆づくり 都市と農村の橋渡し役をしています



丹波篠山市獣がい対策推進員(地域再生協働員)
NPO法人里地里山問題研究所で勤務する

内山 裕海さん (22歳)

ひょうごの新たな魅力

～ふるさとを再発見する歴史と文化を巡る旅～

1 構成自治体／丹波篠山市 丹波篠山 デカンショ節 —民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—

人々の喜怒哀楽や時代ごとの風情、名所・産品が歌に織り込まれたデカンショ節。300番以上にのぼる歌詞は今も増え続け、故郷への誇りとともに歌い継がれます。



2 構成自治体／淡路市、洲本市、南あわじ市 『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」 —古代国家を支えた海人の営み—

最古の歴史書「古事記」の冒頭「国生み神話」の中で、最初に誕生した淡路島。背景にあるのは、金属器や製塩技術、航海術を有し王権を支えた海の民の力です。



3 構成自治体／姫路市、福崎町、市川町、神河町、朝来市、養父市 播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道 —資源大国日本の記憶をたどる73kmの軌—

姫路・節磨港から生野へと貫く「銀の馬車道」、さらに神子畑(みこばた)・明延・中瀬へと続く「鉱石の道」。屈指の鉱山群を目指す道は近代日本の発展を支えた足跡です。



4 構成自治体／丹波篠山市 ほか4県5市町 きっと恋する六古窯 —日本生まれ日本育ちのやきもの産地—

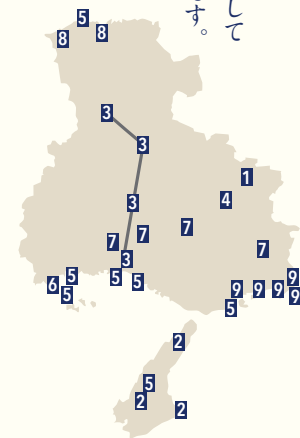
瀬戸、越前、常滑、信楽、備前とともに六古窯に数えられる丹波焼は、質朴で釉流れの美しさが特徴。良質な土に恵まれた地で約800年間、窯に火が灯ります。



9つのストーリーの多様性

日本遺産

地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁に認定されたものが日本遺産です。兵庫県は全国最多の9件が認定されています。



5 構成自治体／神戸市、高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、姫路市、たつの市 ほか1道2府12県41市町 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 —北前船寄港地・船主集落—

江戸から明治にかけて、大阪と北海道を日本海回りで、商品を売り買いしながら人々の夢や文化も運んだ北前船。日本海と瀬戸内海の両方に寄港地があるのが兵庫の特徴です。



6 構成自治体／赤穂市 「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂

瀬戸内の穏やかな海と気候、千種川が運んだ良質な砂による広大な干潟。江戸時代、それらを活かし、入浜塩田法による塩作りで名を馳せたのが播州赤穂です。



7 構成自治体／宝塚市、加東市、加西市、姫路市 ほか2府4県20市町村 1300年つづく日本の終活の旅 —西国三十三所観音巡礼—

日本最古の巡礼の路とされる西国三十三所観音巡礼。兵庫県には4つの礼所があります。1300年の歴史に思いを馳せて辿る路の総距離は1000kmに及びます。



8 構成自治体／香美町、新温泉町 ほか1県5市町 日本海の風が生んだ絶景と秘境 —幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」—

古来より幸せを運ぶと伝わる麒麟獅子。日本海から吹く季節風と絶景・秘境は隣合わせ。厳しい風の季節での無事と、それを乗り越えた感謝を胸に舞い続けます。



9 構成自治体／伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市 「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

優れた技術と良質な米と水、樽廻船により「下り酒」と称された上質な酒を江戸へ届け、築いた清酒のスタンダード。400年の伝統と革新の酒造りが続きます。



ひょうごのつ 県立兵庫津ミュージアム

千年を超える歴史を誇る港湾都市であり、初代県庁が置かれた“始まりの地”である兵庫津に、要衝地としての歴史や独自の過程を辿った兵庫県の成り立ち、五国の魅力や多様性を発信する拠点「兵庫津ミュージアム」の整備を進めています。ミュージアムを構成する2施設のうち、復元施設である初代県庁館は2021(R3)年秋に、展示施設であるひょうごはじまり館は2022(R4)年度下期にオープン予定です。



今秋オープン予定

初代県庁館

1871(M4)年の廃藩置県に先立つこと3年、大坂町奉行所兵庫勤番所の建物を利用して置かれた初代県庁舎を復元。明治新政府の外交窓口となった兵庫県成立の独自性を象徴している



来年度オープン予定

ひょうごはじまり館

歴史ミュージアム機能を持った県のPR施設として、兵庫津の歴史などの常設展示や、臨場感あふれる大型映像シアター、研修室等を整備

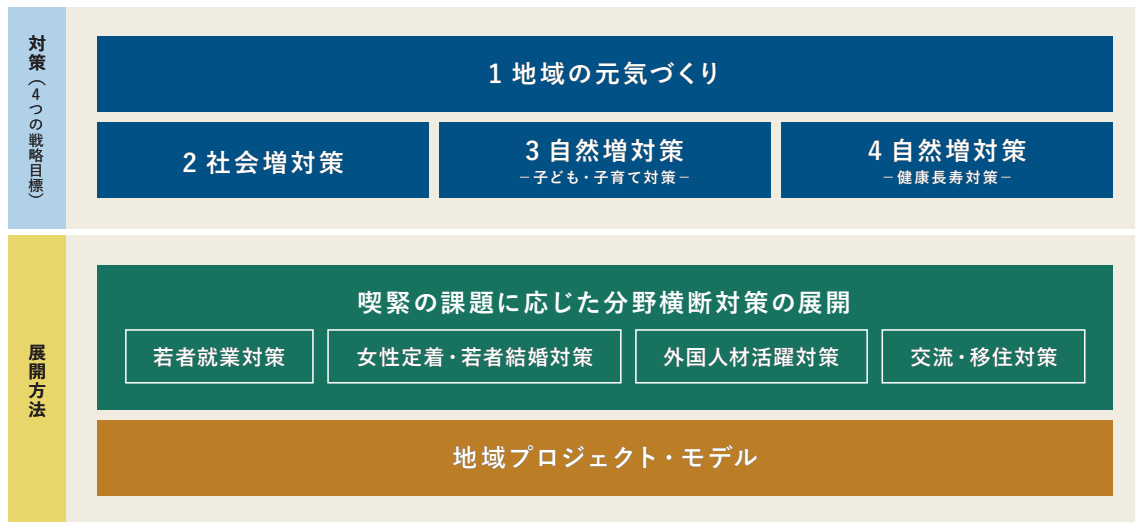
ここにしかない歴史に出会う
体感型施設

兵庫県地域創生戦略の取組状況

兵庫県地域創生戦略(2020～2024)の全体像

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域をつくるという基本理念のもと、①地域の元気づくり、②社会増対策、③自然増対策～子ども・子育て対策～、④自然増対策～健康長寿対策～の**4つの戦略目標**の実現を目指します。

重点課題に対応した**4つの分野横断対策**と、地域の強みや個性を活かした**8つの地域プロジェクト・モデル**を推進し、分野軸と地域軸の双方向で相乗的な施策を展開しています。



行政圏を超え、地域の強みを活かし、地域ごとの課題に対応する

8つの地域プロジェクト

1 阪神・淡路大交流プロジェクト

今後のインバウンドの増加を見据え、阪神・淡路ベイエリアを集客・交流エリアとして発展させる。

2 地場産業を活かした若者女性集積プロジェクト

新ビジネスに挑戦する、若いデザイナーやクリエイター等の人材育成システムを確立する。

3 次世代産業を核とした地域振興プロジェクト

科学技術基盤を中核とした理系人材が集まるまちづくりを進める。

4 播磨歴史回廊プロジェクト

点在する歴史・文化資源を結び観光ルートの設定などを通じて、滞在型・体験型ツーリズムを推進する。

5 リゾート・産業・文化を活かす「但馬ワークスペースプロジェクト」

リモートワークやワーケーションなど多様な働き方モデルを展開し、滞在人口の拡大と新たな事業創造に取り組む。

6 二地域居住・都市農村交流推進プロジェクト

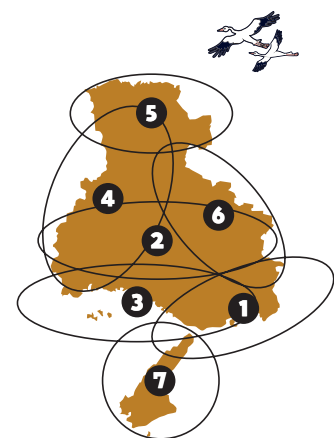
田園回帰志向の都市住民にとって魅力的な丹波の強みを活かし、交流・関係人口の創出・拡大を図る。

7 令和の「御食国」プロジェクト

食の宝庫・淡路島で、食を活かした地域資源を組み合わせたツーリズムを推進し、滞在型観光を進める。

8 多自然地域一日生活圈維持プロジェクト

コンビニエンスストアなど日常的に人が集まる拠点を整備して、地域コミュニティの再構築を図る。

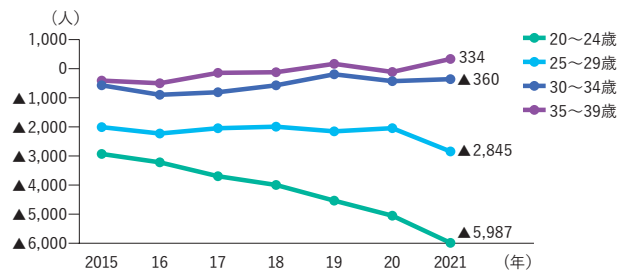


※ 8 は県内に点在する各多自然地域で展開

兵庫県の転出超過数の状況

20歳代の転出超過数が拡大傾向にあります。30歳代には改善傾向が見られます。

とくに東京圏や大阪への若者・女性の転出は、新卒時の就職に伴う転出が大きな課題になっています。新型コロナの影響が見られた昨年は、対前年東京圏への転出は2,401人減りましたが、大阪府への転出は逆に1,277人増加しました。



地域への関心の高まり

東京圏在住20～59歳の約半数(49.8%)が、地方での暮らしに関心があるというデータが、昨年5月に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部から発表されました。地方圏出身者が都会であらためて地方の魅力を確認しているようです。

働き方や住まい、暮らしに対する意識が大きく変わる中で、注目されるのが「地方移住」など地域への関心の高まりです。どこにいても望む仕事や生活ができる時代になりつつある今の流れを、地域創生に生かしたいものです。

■地方圏への暮らし、あなたは？

	意向あり	意向なし
東京圏出身	45.9%	54.1%
地方圏出身	61.7%	38.3%
全体	49.8%	50.2%

出典：2020年5月発表「東京圏在住の20～59歳への意識調査」

topic

阪神・淡路大交流プロジェクトがスタート

阪神・淡路大交流プロジェクトの実現に向け、行政、学識者、企業で構成する「大阪湾ベイエリア構想分科会」において、大阪湾ベイエリアの将来像等を1年間かけて検討してきましたが、このたび、その成果を披露するフォーラムが兵庫県公館で開催されました。

兵庫県立大学教授の加藤座長の基調講演のあと、パネルディスカッションが行われ、「瀬戸内が持つ魅力を活かすため海上交通の

充実が必要」「計画づくりもよいが、実行が大事」「組織体制整備も大事だが、先導するプロジェクトが必要」など、活発な意見交換が行われました。

阪神・淡路大交流プロジェクトでは、こうした意見を踏まえ、来年度海上交通の実証実験や、広域連携組織の立ち上げに向けた検討など、プロジェクトの実現に向けた取組を進めていきます。



大阪湾ベイエリア構想分科会フォーラム



topic

コロナ禍を踏まえた新たな対応

ポストコロナ社会への道筋をつけるため、戦略的アクション・プランでは、以下の4つの視点から重点的に施策を推進しました。

① デジタル革新への対応

• 兵庫情報ハイウェイの増強など

② 産業競争力・リスクへの対応力強化

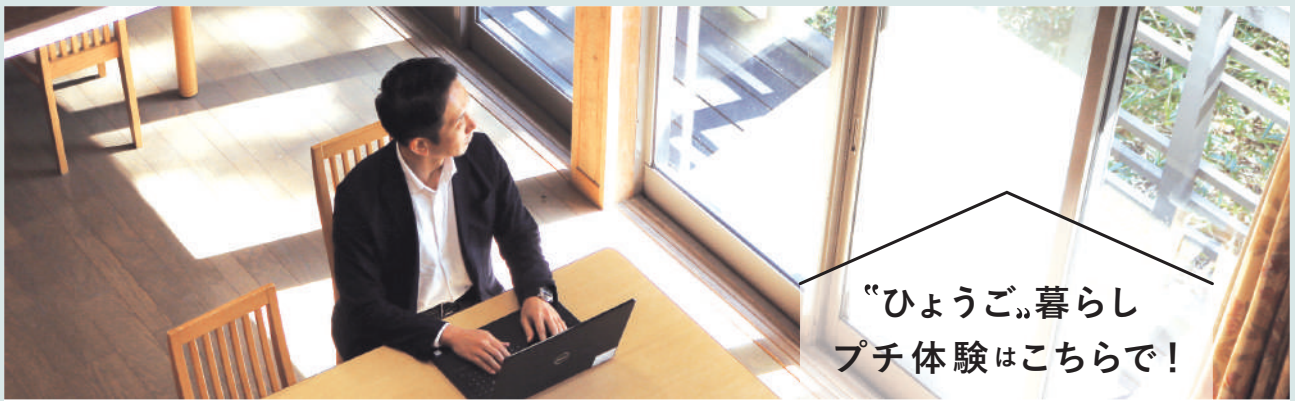
• 地域企業デジタル活用支援事業など

③ 地域のにぎわい創出

• Welcome Hyogoキャンペーンの実施など

④ 新たな生活スタイルの推進

• 「ひょうごスタイル」の推進など



“ひょうご”暮らし
プチ体験はこちらで!

兵庫県に興味を持ったら、お試し移住体験をしてみませんか。県の所有する施設を活用したお試し移住が4つの施設で体験できます。4泊5日から最長1カ月のお試し移住期間中の経費の半額(1人あたりの上限額は月額10万円)を補助するキャンペーンは、2021(R3)年度も実施します。キャンペーン特設サイトは右のQRコードから。



Work and
Vacation



ロッジ波賀の郷
(ワーケーション体験型・家族向き)

調理家電・器具が備ったキッチンにリビング・ダイニング、寝室2部屋があるコテージ(10人定員)が2棟あります。
宍粟市波賀町原560-1



但馬長寿の郷
(ワーケーション体験型・団体向き)

広いリビングとキッチンを備え、里山の豊かな自然に囲まれてゆっくりくつろげるロッジ(15人定員)が4棟あります。1棟当たり5室の寝室があります。
養父市八鹿町国木594-10



西はりま天文台宿泊ロッジ
(ウイークデー滞在型・家族向き)

家族用ロッジ棟に、1室5人まで利用できる2LDK(寝室2部屋、リビング、キッチン、バス、トイレ)の部屋が6室あります。
佐用郡佐用町西河内407-2



いこいの宿 新たんば荘
(移住体験型・個人向き)

2階建てのログハウス2棟に、ユニットバス(ウォシュレット)付きのツイン洋室7室ほか計9室と談話室があります。2~3人でどうぞ。
丹波篠山市郡家451-4



兵庫県が運営する移住ポータルサイト「夢かなうひょうご」では、しごとや空き家、移住イベントなど、兵庫県の移住に関する情報を集めることができます! サイトは上のQRコードから。



有楽町の「ひょうご移住プラザ」で相談

東京・有楽町の東京交通会館8階に「ひょうご移住プラザ」があります。東京圏での移住情報の発信と、U/Iターンに向けた就労相談をワンストップで実施しています。予約・問い合わせは下記へ電話またはメールでお気軽に。



【移住相談】TEL 070-2646-9028

【就労相談】TEL 070-4000-1713

mail : hyogo@furusatokaiki.net

営業時間 10:00~18:00

(月・祝は定休)

